

第38回 心身健康科学サイエンスカフェ

いくらが流産を引き起こす！？

食中毒菌 *Listeria monocytogenes* の わが国の現状



人間総合科学大学人間科学部
ヘルスフードサイエンス学科 助教

宮 聡子 先生

平成30年2月23日(金) 18:00 - 20:00

場所：人間総合科学大学 東京サテライト
(東京・お茶の水)

参加費： 500円 受付は17:30から

(演者より) *Listeria monocytogenes* (リステリア菌) は低温増殖能を有するため冷蔵庫内でも増殖し、消費者が加熱調理を行わないReady-to-eat食品(ナチュラルチーズ、スモークサーモン、サラダ等)を介して食中毒を引き起こします。米国では毎年2000人程の感染患者を排出し(約16%が妊婦)、その致死率は約20-30%と非常に高くなっています。これに対してわが国においては本菌による食中毒事例はこれまでに1件のみの報告に留まっており、「日本ではリステリア食中毒はほとんど起きない」と漠然と楽観視されています。しかし、病院でのアクティブサーベイランスによると、毎年約80件のリステリア症が発生しているとの結果が出ています。

わが国では本当にリステリア食中毒は起きていないのでしょうか。起こらないようにするためには誰がどのような食品に注意をしなければならないのでしょうか。様々なゲノムタイピング法を用いた検証事例をご紹介します。

人間総合科学大学 東京サテライト
(東京・お茶の水)

JR 御茶ノ水駅から徒歩4分

《お問い合わせ、お申し込み》

人間総合科学心身健康科学研究所

E-mail jshas@human.ac.jp

☎ 048-749-6111

webからも申し込めます

